

福井医療大学 出前講座

通年 (2025年4月～2026年3月)

No.1

No.	講座テーマ	施設区分	対象区分	講師	内容・特色	キーワード	ZOOM 対応
1	綺麗な歩き方	中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 理学療法専攻 教授 藤田和樹	歩行は生活と運動の基本です。正しく綺麗な姿勢で歩くにはどうすればいいか、歩行のメカニズムと姿勢を改善するトレーニング法について説明します。	健康、歩行	可
2	日常生活における姿勢バランスと動作について	高校	学生	リハビリテーション学科 理学療法専攻 准教授 村田寛一郎	日常生活における姿勢バランスおよび動作の特徴を力学的に考え、起こりうる身体への負担と動作の特徴との関係をお話します。	運動学、姿勢、バランス、 理学療法	可
3	コーディネーショントレーニングの実際 ～からだの操作性を高めよう～	小学校	学生	リハビリテーション学科 理学療法専攻 講師 菅野智也	スポーツに必要なからだを上手に操作する能力(身のこなし)について説明し、実際のトレーニング法を紹介します。	コーディネーショントレーニング	可
4	子どもロコモティブシンドローム	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 理学療法専攻 助教 菅原慎弥	近年、児童・生徒において関節、筋力、バランスなどの運動器機能が低下し、転倒によるけがが増えてきているため、学校生活および部活動で生じやすいけがと身体機能の関係についてお話します。	筋力、柔軟性、バランス、 けが予防	可
5	対象者の理解を深めるために	中学校 高校	学生	リハビリテーション学科 作業療法専攻 教授 石田圭二	人を理解するとき様々な視点・枠組が存在します。大きく分ければ理解をする側の視点・枠組と理解される側のものであり、時にはその理解内容は対立することもあります。医療者は医学的な視点・枠組が求められますが、それだけでは十分な対応に結びつくことができない場合があります。講座では人としての理解を進める方法について学生さんの臨床実習記録を基に対象者を理解する際の視点や枠組に沿って整理を行い深めていきます。	障がいの理解、 障がい者の心理、支援方法	可
6	障がいを乗り越える心理	中学校 高校	学生	リハビリテーション学科 作業療法専攻 教授 石田圭二	けがや病気にかかったとき、現在の医療では完治させることが困難で「障がい」が残存することが多くあります。リハビリテーションは「人間にふさわしい権利・資格の回復を回復させる」という意味を持ち、その一翼を担う作業療法の臨床場面では「障がい」を乗り越えようとする人の営みに出会うこととなります。講座では学生さんの臨床実習記録や患者手記を読み解くことで、その力強い心の動きの理解を深めていきます。	障がいの理解、 障がい者の心理、支援方法	可
7	高齢者の理解のために！ ～“からだ”と“こころ”の変化～	中学校 高校	学生	リハビリテーション学科 作業療法専攻 教授 堀敦志	高齢化が進み「障がいを持った高齢者」が増えていきます。そのため、全ての人が「高齢障がい者」の理解を深めることが必要です。そこで、高齢者の特徴を「からだ」だけでなく、「こころ」からも理解を深め、認知症等の対応についても学んでいきましょう。	認知症	可
8	子ども達の発達と遊び ～作業療法士の視点から～	未就学	保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法専攻 講師 斎藤千帆	子ども達は、日々繰り返す遊びを通して様々な機能を発達させ、自分の体を理解し環境とうまく関わることができるようになっていきます。子ども達の遊びと発達の関係、うまく遊べない子どもの背景とその支援について、作業療法士の視点からお話します。	子ども、発達、支援、遊び	可
9	早く気づこう、心の不調	中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法専攻 講師 下川幸蔵	ストレスフルな現代社会において、誰も1度は「こころの不調」を感じたことがあるはずです。「こころの不調」は決して珍しくありません。そんな「こころの不調」に早く気づき、対処するコツをお話します。	ストレス、こころ、不調	可
10	脳卒中を知る！ メカニズムや症状、予防やリハビリテーション	中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法専攻 講師 酒井涼	脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血)は脳の中で血管が詰まったり破裂する病気です。半身まひや認知機能に障がいを起こすことが多く、十分な予防が必要です。脳卒中とはどんな病気なのか、そして予防するにはどんなことに気を付けると良いのか、脳卒中に備えていくための知識をわかりやすくお話します。	脳卒中、脳梗塞、脳出血、 リハビリテーション、 生活習慣、予防	可
11	人の生活を支える脳の仕組み ～人体の精巧なメカニズムとリハビリテーション～	中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法専攻 講師 酒井涼	ひとの日常は脳の複雑な仕組みによって成り立っています。日常生活において脳はどんな機能を持ち、どんな役割を果たしているのか？そして脳に障がいがあるとどのような問題に直面するのか、実際のリハビリテーション場面や最先端の科学や医療と合わせて、わかりやすくご紹介します。本講座を受けて人体や科学、医療への関心を深めていきます。	人体の仕組み、神経科学、 リハビリテーション	可
12	作業療法士が支える日常生活活動(ADL)とは？	中学校 高校	学生	リハビリテーション学科 作業療法専攻 助教 熊谷のぞみ	日常生活活動(ADL)とは、生活を送る上で基本となる身辺動作のことです。この様々な動作や活動に支障がある場合、作業療法士がサポートをして、その人らしい生活が取り戻せるように支援していくこととなります。毎日の生活がどのような活動で成り立っているのか、一緒に考えてみましょう。またその活動に支障が生じたら、どのようにサポートしていくのか、作業療法士の視点からお話します。	日常生活活動、動作指導	可
13	利き手交換チャレンジ！ ～どうしたら実生活で使える手になる？～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法専攻 助教 佐々木孝次	けがや病気ですぐ利き手が使えなくなったらどうしますか？生活の中で普段になげなく使っている鉛筆や箸を利き手とは反対の手ですぐに使うのは難しいでしょう。今のうちから練習すれば両利きになっていきます。すぐに始められる利き手交換のテクニックをご紹介します。また、慣れない間に使える生活道具(自具)もあります。一緒に利き手交換にチャレンジしてみましょう。	利き手が使えなくなったら、 利き手交換、自具	可
14	Ride on the SDGs! ～障がい者福祉からSDGsの波に乗ろう！～	中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 作業療法専攻 助教 中島裕也	SDGsでは、目標3[保健]人々の健康的な生活の確保と福祉の促進、目標8[経済成長と雇用]全ての人の雇用を促進するといったことが掲げられています。障がい者福祉、障がい者雇用の視点から、SDGsに触れてみませんか？ディスカッション形式で、みなさんと一緒に障がい者福祉、障がい者雇用を考えることができればと思います。SDGsの理解を深め、時代に乗り遅れないようにしましょう。	SDGs、障がい者福祉、 障がい者雇用	可
15	聞き手に伝わりやすい話し方	未就学 小学校 中学校 高校	未就学児 学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 言語聴覚専攻 講師 西尾 桂子	新型コロナウイルス感染症でのマスク生活により、口唇や口唇周囲、舌などの口の動きや状態への意識が低下したとの報告があります。お口の動きが少ないと顔の表情のメリハリが少なくなるだけでなく、発音もあいまいになり、聞き手に話し言葉がうまく伝わらないことも生じます。正しい日本語の発音を理解し、お口を動かすことの大切さをお話します。	発音、発声発語器官の動き	可
16	褥瘡(とこずれ)およびスキンケア (皮膚が破れたり、裂けてしまうこと)の予防から治療まで	小学校 中学校 高校	保護者 教職員	看護学科 教授 北川敦子	褥瘡(とこずれ)やスキンケア(皮膚が破れたり、裂けてしまうこと)は特に高率に発生する高齢者にとって重要な問題です。この問題を予防する方法、治療する方法について原理を交えながら分かりやすくお話する授業です。明日からのケアを学ぶ授業となります。対象に合わせた内容として分かりやすくお話します。	褥瘡、予防、寝たきり、 座りきり、スキンケア、 皮膚裂傷、高齢者、予防、 管理	可
17	生きることってなあに	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	看護学科 教授 北川敦子	様々な人々は辛くなったとき、「死」をはじめ意識するようになります。「死」と「生」は表裏一体のものであり、それは「いのち」という言葉で表現されています。本講義では人間の根本にある「いのち」と「生きる」について考え、明日から前向きな人生を送るためのヒントを考える授業です。対象に合わせた内容として分かりやすくお話します。	死生観、生と死、QOL、 スピリチュアルペイン	可
18	アドバンスド・スキンケア	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	看護学科 教授 北川敦子	身体の外観を覆う最大の臓器、皮膚。この皮膚の整えが、身体的な影響だけではなく、心や社会生活に大きな影響をもたらします。本講義では、皮膚の解剖生理の基礎から、最新のスキンケア方法を実践を交えながら学びます(ZOOMでの対応時は実技はできません)。スキンケアが、生活にどのような影響をもたらすか、整えによって何がかわるのかについて考えていきます。	褥瘡、予防、寝たきり、 座りきり、スキンケア、 皮膚裂傷、高齢者、予防、 管理	可
19	折れない心を育てる	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	看護学科 教授 北川敦子	苦しくて自分を認められず、自分や相手を傷つける。どうしたら、たとえ苦しくても人を傷つけず、自分や相手を大切にすることができるでしょうか。ただ単に、いのちの大切さを頭で理解するためのものではありません。私たち一人ひとりが、解決困難な苦しみを抱えたときに、具体的な行動として何ができるか、それぞれの立場で感じ、考える授業です。対象に合わせた内容として分かりやすくお話します。	死生観、生と死、QOL、 スピリチュアルペイン	可
20	からだをサビつかせるAGEの正体 ～AGEsの基礎知識と老化を予防する食生活・スキンケア方法～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	看護学科 教授 北川敦子	近年注目されているAGE(終末糖化産物)は、からだをサビつかせ老化を促進する物質だということが明らかになってきました。本講義ではAGEの基礎知識からサビつきを予防する食生活・スキンケアのお話をします。さらに希望者には無料でAGEを測定する機器を用いて、自分の老化度を測定します。 ※Zoomの場合はAGEの測定不可	AGE(終末糖化産物)、老化、 食生活、スキンケア、 AGE測定	可
21	チャレンジ算数・数学	小学校 中学校 高校	児童生徒 教職員	看護学科 教授 趙雪梅	探求活動や体験活動を通して、児童生徒の算数・数学への関心・意欲を高めることを目指します。活動はストーリーをもとに遊び的要素を取り入れます。活動に関わる操作・話し合いを通して、解決のための発想を生み出します。それらの発想に基づき、子どもが把握した知識・技能を活用して、数学学習とつなげることができるようになることを期待します。活動内容や時間に関して、教職員の方と事前に打ち合わせます。その後、担当教員とともに活動を展開します。	探求・体験、発想、活用	不可
22	こころと体 いきいき 元気	こども園 小学校 中学校	幼児 児童生徒 保護者 教職員	看護学科 講師 五十嵐利恵	こころと体の健康を保つ為に、今自分に必要なことを知り、実践できるようになるといいね。	保健教育、健康課題 からだ いのち こころ セルフケア	不可

前期 (2025年4月～9月)

No.	講座テーマ	施設区分	対象区分	講師	内容・特色	キーワード	ZOOM 対応
23	コミュニケーション能力と自己肯定感について ～ヒトの音声情報の観点から～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 講師 新谷純	人と人はことばを使って話をしますが、コミュニケーションを印象づける重要な要素は、実はヒトの音声情報に含まれています。相手に与える印象は、話している内容や言葉遣いよりも「大きさ・高さ・速度」などの情報が影響していることがわかっています。コミュニケーション能力が高いことはより良い対人関係の構築につながり、自己肯定感が高まります。音声という観点から、コミュニケーション能力について科学的知見を踏まえてお話します。	社会的スキル、 コミュニケーション、音声表出	可
24	医療・リハビリのお仕事 ～言語聴覚士～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 助教 村田里佳	言語聴覚士という職業は、言葉、聴こえ、飲み込みをサポートする専門職です。人がその人らしく生きていくために必要な、コミュニケーションを支援します。あまり知られていない、だけど今後も必要とされ続ける職業。コミュニケーションが苦手なお友達や食事やむせる様になったご家族に、どう接したらいいんだろう？体験を通して、私たち言語聴覚士のお仕事をご紹介します。	職業紹介、医療、 リハビリテーション、 言語聴覚士	可
25	チームで精神医療を行うということ	高校	学生	看護学科 教授 小俣直人	精神障がいをする患者さんは、疾患ごとの様々な症状に加えて、生活上の支障や今後の回復など色々なことに悩んでいます。また、家族との関わりや経済的なことなど、非常に多様な問題を抱えています。本講座では、これらを解決していくためには、異なる職種医療スタッフが連携・協働していくことが不可欠となっていること、更には、家族や患者本人も治療に加わっているという意識を持つことが必要であることを解説します。	チーム、精神医療	可
26	杉田玄白になって体の「かたちとはたらき」について考えよう ～筋・骨格編～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	看護学科 教授 猪口徳一	福井が誇る江戸時代の蘭学者、杉田玄白は解体新書をまとめ、日本の医学の発展に貢献しました。参加者が杉田玄白になって普段触れることのない体の内部について模型を使って調べます。そして、体の「かたちとはたらき」について一緒に考えてみましょう。今回は筋・骨格編です。	体のかたちと機能、 筋肉と骨格	不可

後期 (2025年10月～2026年3月)

No.	講座テーマ	施設区分	対象区分	講師	内容・特色	キーワード	ZOOM 対応
27	声を分析して体調を評価する	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 教授 塩見格一	最新の研究成果から「人間の音声を分析すれば、発話者の心身状態の評価が可能である！」と考えられる成果が得られています。この成果から、スマートフォンのアプリを利用して、誰でも簡単に日常的な自己管理が可能になります。この技術について、その手法から現状までの成果と将来的な展望についてお話します。	音声、心身状態、過労状態、 睡眠不足、 居眠りの予知と警告	可
28	ことばと脳の仕組み	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	リハビリテーション学科 言語聴覚学専攻 講師 高橋宣弘	ことばは思いを伝えたり、物語を紡いだり、世界を理解する手助けをしてくれます。しかし、その背後には脳の驚くべき仕組みが存在しています。この講座では、ことばと脳の密接な関係について探求します。さらに、脳卒中(脳の血管が詰まり破れたりすること)により起こる障がいの中に失語症というものがあります。失語症になると、なぜ言葉がうまく使えなくなるのかについても理解を深めていきましょう。	ことば、脳、言語処理、 言語障がい	可
29	身近な感染予防：できていますか？正しい手指衛生 ～感染防止の基本は手洗いから～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	看護学科 教授 吉田由加里	感染症は、ひとたび発生して拡大すれば個人の健康のみならず社会全体に深刻な影響を及ぼすおそれがあります。身近な感染症や、予防対策としての手洗いの効果、マスクの効果等についてお話します。	感染症、予防対策、 手指衛生、手洗い	可
30	子どもに起こりやすい事故の予防と手当	未就学	保育士 教職員	看護学科 教授 吉田美幸	子どもの死亡原因では、「不慮の事故」が上位を占めており、子どもは一生の中で最も事故を起こしやすい年齢層です。子どもの健康を護るためには、事故を予防することが重要です。そこで、子どもの発達的特徴、それにとめない起こりやすい事故とその予防・手当についてお話します。	子ども、事故、事故予防、 手当	可
31	杉田玄白になって体の「かたちとはたらき」について考えよう ～あたま・脳編～	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	看護学科 教授 猪口徳一	福井が誇る江戸時代の蘭学者、杉田玄白は解体新書をまとめ、日本の医学の発展に貢献しました。参加者が杉田玄白になって普段触れることのない体の内部について模型を使って調べます。そして、体の「かたちとはたらき」について一緒に考えてみましょう。今回はあたま・脳編です。	体のかたちと機能、 あたまと脳	不可
32	学校生活が楽しくなる睡眠の話	小学校 中学校 高校	学生 保護者 教職員	看護学科 講師 藤本ひとみ	自分の睡眠を見直してみると、学校生活が今より少し楽しくなるかもしれません。小学生(中学生、高校生など)に必要な睡眠時間、寝ている間に起こる体の変化、寝る前にはいけないこと、「ぐっすり眠る」、「すっきり起きる」方法などについてお話します。	睡眠、心身健康、学校生活	可
33	見逃さないで！子ども虐待	未就学 小学校 中学校	教職員	看護学科 講師 青井利哉	子どもの虐待予防、発見、対応、再発防止のために何ができるのか、私が経験してきた多くの例をもとに、具体的に解説します。さらに、児童虐待が子どもの発達にどのような影響を与えるのかについても考えます。	子ども、虐待	可
34	ユーモアとケア	中学校 高校	学生	看護学科 助教 近藤よよい	ユーモアは、一般的に対人関係のコミュニケーションスキルとして知られています。ユーモアのある人ってどういう人でしょうか？おもしろいことを言う人、笑わせてくれる人というイメージが強いのではないのでしょうか。ユーモアも多種類ありますが、ここでは、笑いやユーモアが医療の現場でどのように活用されているのかをお話します(笑いを伴う体操も説明します)。	ユーモア、 コミュニケーションスキル、 医療現場での活用	可
35	生活行動からからだをみて自分の生活習慣を振り返ってみよう	小学校 中学校	学生 保護者 教職員	看護学科 助教 奥田豊子	生きていることとはどういうことか、食べて、息をして、トイレに行くことは生きていることとどのように関連しているのか。これらを知ることで、自分の日々の生活を振り返り、より良い生活習慣を整えることに繋がります。対象年齢に合わせてお話します。	生活行動からみるからだ 生活習慣、健康管理	可

キャリア講座通年(2025年4月～2026年3月)

No.	講座テーマ	施設区分	対象区分	内容・特色	キーワード	ZOOM 対応
36	リハビリ・看護師のお仕事を知ろう!	小学校 中学校 高校	学生 保護者	医療専門職は、医療に関係する専門的な仕事をする人の事を言います。医療専門職が携わるどの仕事も、人に寄り添い、人の人生に係る仕事で、人の命に係ることが多く、人を助けたい、救いたいという思いを持つ人が目指す『やりがい』のある仕事です。本講座では、医療専門職の中でもリハビリテーション専門職(理学療法士・作業療法士・言語聴覚士)・看護師が「どのような職種なのか」、「それぞれの職種の魅力とは」について詳しくお話します。本講座を受講することで、これからの進路を考える一助になるはずです。	職業理解	可